

平成16年3月期 第1四半期業績概況(連結)

平成15年 8月12日

上場会社名 明治製菓株式会社

コード番号 2202 東証第1部

(URL <http://www.meiji.co.jp>)

問合せ先 代表者 役職名 代表取締役 社長 氏名 佐藤 尚忠

責任者 役職名 広報部長 氏名 田端三郎司 TEL(03)3272-6511

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度に : 無

おける認識の方法との相違の有無

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 有 連結(新規) 1社

2. 平成16年3月期第1四半期の業績概況(平成15年4月1日~平成15年6月30日)

(1) 売上高 (注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示してあります

	百万円	%
平成16年3月期第1四半期	82,123	
平成15年3月期第1四半期		
(参考)平成15年3月期	353,453	

(注) 前年同四半期については、四半期決算を行っていないため記載していません。

パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示しておりますが、前年同四半期決算を行っていないため記載していません。

[売上高に関する補足説明]

当第1四半期の売上高は82億123百万円となりました。

主なセグメント別の状況は次のとおりです。

食料事業

主力商品のブランド別トータルマーケティングの展開と独自性のある商品開発により、売上の回復と拡大に努めました結果、当第1四半期の売上高は52億237百万円となりました。

菓子市場の消費動向は前年を下回るなど、引き続き厳しい事業環境ではありますが、各種キャンペーンの実施を始め、主力のチョコレートは、春夏向けの新商品「フラン・ノワール」の発売など品揃えの強化に努め、またガムも「キシリッシュ」にリニューアル品を投入したことにより順調に伸長しました。

食品ではココア健康効果が引き続き消費者に支持され、好調に推移しました。

薬品事業

主力製品を中心に着実な学術普及活動と積極的な営業活動を展開しました結果、当第1四半期の売上高は24億455百万円となりました。

医療用医薬品の分野では、本年4月より実施された医療費自己負担率の引き上げを始めとする医療費抑制策による厳しい市場環境の中、主力の「メイアクト」や昨年発売した「オメガシン」「スオード」は好調に推移しましたが、「ホスミン」「ハベカシン」は競争激化により減売となりました。

また、生物産業事業ではいもち病予防殺菌剤「オリゼメート」の伸長や、動物薬事業の強化により、売上を伸ばしました。

ヘルスケア事業

ブランド力の向上を目指したマーケティング活動を展開した結果、当第1四半期の売上高は46億48百万円となりました。

薬局・薬店向け医薬品では「イソジン」各種製剤が大きく伸長し、売上に寄与しました。

また、健康食品では新規に参入する企業も多く競争激化が続いている中、消費者の健康や美容指向の高まりから「ローラ」や「アミノコラーゲン」が好調に推移しました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

当第1四半期より非連結子会社「アステカ」(主な事業内容は菓子その他食料品の製造・販売)を、重要性が高まったため連結子会社といたしました。これにより当社企業集団の連結範囲は、当社と連結子会社22社、持分法適用関連会社2社より構成されております。

3. 平成16年3月期の連結業績予想(平成15年4月1日~平成16年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	170,000	1,500	500	
通期	370,000	8,000	4,000	10.38

[業績予想に関する定性的情報等]

業績予想につきましては、平成15年5月15日発表の数値を修正しておりません。

上記の予想は、現時点における事業環境において、入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以上